

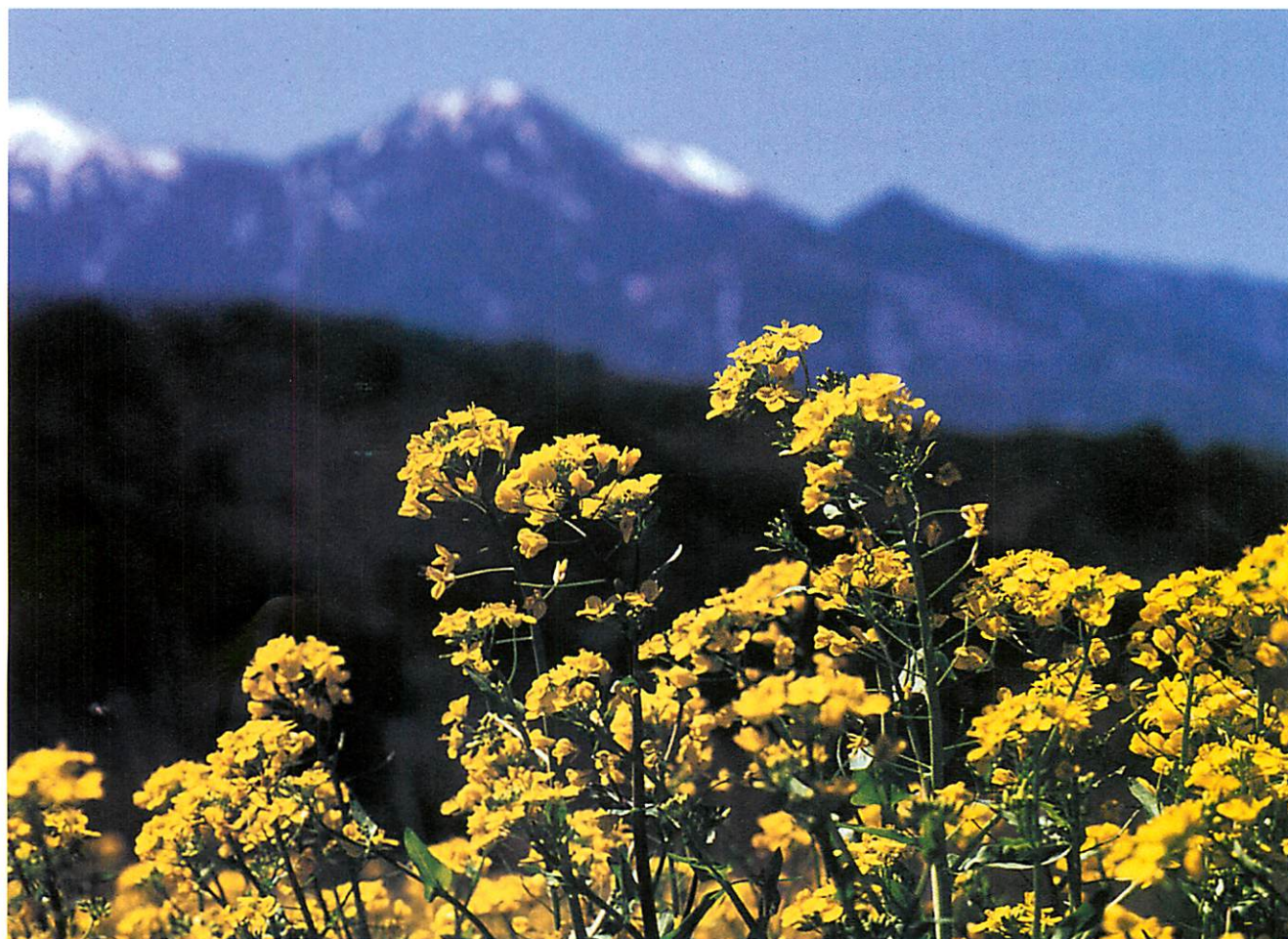
2001年

3

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.98



写真：「早春」山本かほるさん（山梨県 北巨摩郡にて）

もくじ

- 2 特集 多摩川エコミュージアム構想
- 4 生涯学習ア・ラ・カルト
- 6 ぐるーぷ BOX／イベントパーク
- 7 いま地域で学校で
- 8 暮らし百景 ステージ・アップ俳壇／まち・ひと・多面体

発行・財川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560 / FAX 044(739)0085

特集

多摩川エコミュージアム構想

豊かな水辺は生きた博物館 伝えよう ふるさとの水と緑

羽を休めるアオサギ、群れをなすユリカモメ、エサをついばむメダイチドリ、多摩川の岸辺を歩いているとたくさんの野鳥に出会います。穏やかな水の揺らぎを見ているだけで安らぎをおぼえる多摩川。その昔、人々は暮らしの中で川をさまざまに利用してきました。川崎の歴史や文化は多摩川によって育まれてきたのです。

その多摩川を軸としたまちづくりが「多摩川エコミュージアム構想」で、市民と行政とのパートナーシップによって、1996年から進められています。この構想では、多摩川を水と緑のネットワークの基本に位置づけ、次の三つの理念を掲げています。

- ①流域の自然と歴史・文化の保全継承
- ②誰もが楽しく学び活動の出来るまちづくり
- ③市民・企業・行政が一体となったまちづくり

このような理念に基づき、多くの市民団体が、構想の実現に向けて活動しています。また、99年4月には、活動拠点として「二ヶ領せせらぎ館」が開館しました。

エコミュージアムは「特別環境博物館」を意味するもので、1960年代後半のフランスで始まりました。従来の博物館のように学問的な資料の収集や展示をするのではなく、物や自然を介して人々が自らの地域社会を探求し、未来を創造することをめざす、新しい概念の博物館なのです。

この構想にかかわる市民団体の方に多摩川の魅力やまちづくりに寄せる思いを伺いました。

川に親しむ「二ヶ領せせらぎ館」

「二ヶ領せせらぎ館」は、建設省の「二ヶ領宿河原堰」管理所の一部を川崎市が借りて1999年4月にオープンしました。この施設は、多摩川が持っているさまざまな魅力を市民の方々に理解してもらうとともに、「多摩川エコミュージアム構想」の運営拠点として、多摩川に関する情報やイベントの発信基地となっています。館の管理・運営は、いくつかの市民団体や町内会がボランティアで行い、訪れた人に水辺の楽しさを紹介しています。

1階を入るとまず目をひくのは、床面に張ってある多摩川流域の航空写真です。この写真上で、河口から



山梨県笠取山の源流まで、138キロの多摩川をたどる旅が体験できます。また、川について検索できるパソコンや、「二ヶ領宿河原堰」の模型などがあり、周辺の自然環境や人々との関わりなども知ることができます。さらに、中央のモニター画面には、魚道カメラがとらえた魚が映し出されます。堰の両側に設けられた魚道を、力強く遡上する魚のリアルな映像が楽しめます。

このほか、2階には会議室や資料室があり、会合や学習など、市民の活動の場として利用されています。

- 場 所 多摩区宿河原1-5-1 ☎044(900)8386
- 開館日 火曜～日曜 10時～16時（月曜休館）
※6月～9月の土・日・祝日は10時～17時
- 交 通 JR南武線・小田急線登戸駅から徒歩10分

市民主体のプロジェクトチームで活動している方と運営委員会に加わっている町内会の方の声を紹介します。

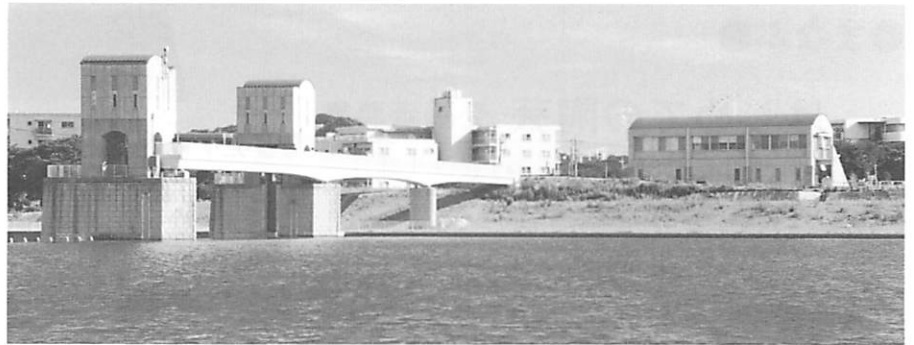
「多摩川と語る会」代表

田中喜美子さん

私たちの会は川崎の母なる川、多摩川を河口から源流まで歩こうという会です。138キロを自分たちの目で確かめ手で触れながら源流に到達した4年半の記録を、21世紀に伝えたいと「多摩川と語る」を自費出版しました。

そして、また河口から歩き始めましたが、より多くの人に多摩川を知ってもらいたいと、せせらぎ館で「多摩川・環境学習プロジェクト」の活動に取り組んでいます。そこで「多摩川をまるごと知ろう」というセミナーを企画し、今年度は源流と河口に焦点をあてました。源流のすばらしさと厳しさを伝えようと、源流の写真展や源流探索会を開催しました。また、河口の今と昔を同時に体験してもらおうと、首都圏のエネルギーを支えている河口を船で見学する一方、かつて「大師の海」といわれていたころの「のりづくり」の体験学習もしました。

多摩川が川崎を一つにつなぐふるさとの川であるようにとせせらぎ館から発信し続けていきたいと思っています。



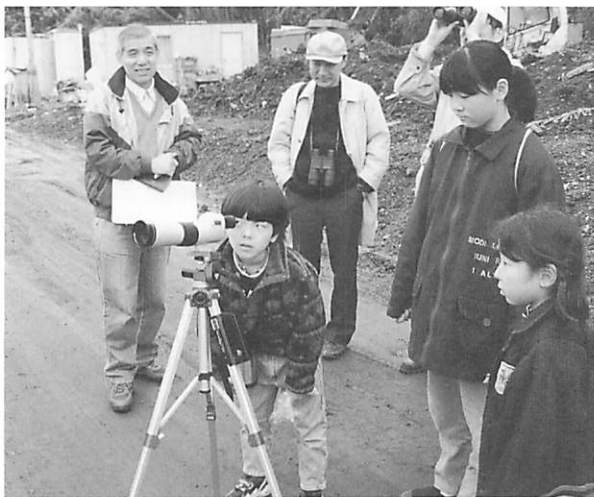
対岸から宿河原堰と二ヶ領せせらぎ館をのぞむ (提供写真)

「宿河原町内会」関山雅明さん

多摩川は、二ヶ領用水の取水口付近に住む私にとって長年親しんでいる「母なる川」です。この地域は二ヶ領用水を中心として、「桜保存会」が守り育てているりっぱな桜並木もあります。

川崎に住んでいても、多摩川を知らない子どももいます。子どもたちには、自然環境に恵まれた多摩川で植物や生き物たちとたくさん接してほしいと思いますね。

「多摩川エコミュージアム構想」の拠点となっている「二ヶ領せせらぎ館」の管理・運営を、関係する市民団体の人と一緒に交代で行っています。見学者はこれまでに約35,000人です。せせらぎ館が多くの人に楽しんでもらえるよう、少しでもお役に立てればと思っています。



平瀬川流域まちづくり協議会の野鳥観察 (提供写真)

「平瀬川流域まちづくり協議会」事務局長 松井隆一さん

多摩川の支流である平瀬川に添う宮前区の向ヶ丘地区を中心に活動しています。私たちは川をとおしての地域コミュニティの復活を願って、1993年に「平瀬川流域まちづくり協議会」と「うるおいのあるまちづくり地域問題促進委員会」を発足させました。

その後毎年、流域の8自治会による「平瀬川七夕サミット」や「平瀬川桜植樹祭」を行政と一緒に開催しています。また、流域の清掃、草刈り、子どもたちを中心とした昆虫や野鳥の観察会なども行っています。

平瀬川流域が「水と緑のプロムナード」として、楽しい散歩道になることを夢んでいます。

エコミュージアム構想を支えるプロジェクトチーム

このプロジェクトチームに興味のある方、参加したい方はご連絡ください。

湧水・水循環プロジェクトチーム

二ヶ領用水の再生を考える市民の会…高坂徹046(245)6044
高津・循環型社会を考える会…石村早苗044(811)5250

平瀬川流域市民活動プロジェクトチーム

宮前区 平瀬川流域まちづくり協議会…松井隆一044(976)2300
多摩区 平瀬川をよくする会…関口鐘雪044(977)5343

多摩川植樹プロジェクトチーム

多摩川さくらの会…佐藤厚044(711)2139

ふるさと遺産整備プロジェクトチーム

代表世話人…長島保03(3751)6393

多摩川・環境学習プロジェクトチーム

多摩川と語る会…田中喜美子044(954)3588

まちづくり支援プロジェクトチーム

川崎・水と緑のネットワーク…井田安弘044(932)1366

広報プロジェクトチーム

おやじの会「いたか」…木村功044(944)7517

●まなぶ●

はじめての陶芸 受講者募集

- 【期間】 4月21日～8月18日の第1、3土曜日
13時半～16時
- 【会場】 川崎市青少年創作センター
(小田急線生田駅下車・徒歩10分)
- 【対象】 市内在住・在勤の20歳以上の初心者
- 【定員】 24人(多数の時は抽選)
- 【費用】 受講料 18,000円(粘土・釉薬代含む)
道具は自分で用意するか、別途購入(3,300円程度)になります。
- ◆申し込みは3月10日(土)消印有効で、はがきに「はじめての陶芸申し込み」と記し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し下記にお送りください。
〒211-0064 中原区今井南町514-1 生涯学習プラザ
(財)川崎市生涯学習振興事業団
学習事業室 「はじめての陶芸」係

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

資格取得支援講座 受講生募集

- ①宅地建物取引主任者
- 【期間】 4月14日～10月6日の土曜日 全24回
- 【時間】 9時半～12時半
- 【費用】 46,500円(教材費込み)
- ②一般旅行業務取扱主任者
- 【期間】 4月18日～9月19日の水曜日 全21回
- 【時間】 13時～16時
- 【費用】 受講料60,000円 教材費10,000円
- ③社会保険労務士・答案練習
- 【期間】 5月12日～7月22日の土・日(2回)曜日 全11回
- 【時間】 13時～16時
- 【費用】 受講料20,000円 教材費15,000円
- ④通関士
- 【期間】 5月17日～9月20日の木曜日 全18回
- 【時間】 13時～16時
- 【費用】 受講料70,000円 教材費6,800円
- ⑤TOEIC 初級 ⑥TOEIC 中級
- 【期間】 5月19日～9月1日の土曜日 全15回
- 【時間】 初級：10時半～12時半
中級：13時半～15時半
- 【費用】 受講料30,000円 教材費3,000円

生涯学習ア

- ◆講座会場は、すべて新百合21ビル地下2階の生涯学習振興事業団研修室(小田急線新百合ヶ丘駅下車)
- ◆定員は①③は各60人、他は各30人(多数の時は抽選)
※定員に満たない講座は、中止になることもあります。
- ◆申し込み受け付け期間…①②は3月6日(火)～16日(金)、③④は3月27日(火)～4月6日(金)、⑤⑥は4月10日(火)～4月20日(金)
- ◆申し込み方法…電話の場合は火曜～金曜の10～16時 ☎952-5000へ☎はがきの場合は各最終日必着で下記にお送りください。
〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2 新百合21内
生涯学習振興事業団「資格取得支援」係

問い合わせ 学習事業室新百合分室 ☎044(952)5000

●はぐくむ●

平成12年度の事業を終えて



「ふれあいサマーキャンプ」でボート競漕を体験

当事業団の青少年活動室では、今年度「ふれあいサマーキャンプ」「遊びの広場」「学校施設開放」「プール開放」「夜間校庭施設開放」などの事業を実施しました。

「ふれあいサマーキャンプ」では、川崎の子どもたち320人が、川崎市と友好関係にある北海道や九州などの市町村に行き、その土地の自然や文化に触れました。農業や漁業、学校間交流、ホームステイなどの貴重な体験をし、大きく成長して帰ってきました。

「遊びの広場」では、第2・4土曜に市内116校の校庭や体育館などを開放し、子どもたちが自由に遊べる場所を提供しました。

また、子どもや地域住民がスポーツ・社会活動ができるよう「学校施設校庭開放」「プール開放」も行いました。

「夜間校庭施設開放」では、照明設備のある7校の校庭をスポーツやレクリエーションができるよう開放し、多くの団体が利用しました。

今後もこれらの事業をさらに充実させ、子どもたちや地域の人たちの活動を積極的に支援いたします。

問い合わせ 青少年活動事業室 ☎044(733)5893

ラ・カルト

●たのしむ●

大人のための健康づくりスポーツ

「ゴルフ・テニス教室」ほかを開催

春から初夏にかけ、楽しくスポーツをしながら健康・体力増進、そして仲間づくりに精を出してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしております。

◆健康体操教室

4月7日～6月30日の土曜 10時～11時30分
全12回 受講料…6,000円 定員…40人

◆ヨガ教室

4月9日～6月18日の月曜 14時から15時30分
全10回 受講料…5,000円 定員…40人

◆エアロビクス教室

4月10日～6月19日の火曜 10時から11時30分
全10回 受講料…5,000円 定員…40人

*場所はいずれも生涯学習プラザ・フィットネスルーム

◆津田山テニス教室(津田山駅前のスノーヴァ溝の口)

4月9日～6月4日の月曜 全8回
初級…9時～ 中級…①10時45分～②12時30分～
受講料…15,000円 定員…各20人

◆川崎ゴルフ教室(多摩川河川敷内の川崎ゴルフ練習場)

水曜コース…4月11日～6月20日
金曜コース…4月13日～6月22日
時間はいずれも10時から11時30分 全10回
受講料…21,000円 定員…各15人

申し込みは3月26日(月)必着で、往復はがきに教室名(テニスは初・中級の別、時間、ゴルフは曜日も)、住所、氏名、年齢、☎を記し 〒211-0064 中原区今井南町514-1 生涯学習プラザ スポーツ事業室までお送りください。

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

●さがす●

学習のお手伝いをします「指導者・人材情報」

この欄で「ふれあいネット」の生涯学習情報についてお知らせするようになってから、情報の提供や登録についての問い合わせが増えてきました。今回お知らせする「指導者・人材」情報も、皆様からの登録で成り立っています。

「指導者・人材」情報では、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、家庭生活、趣味、ボランティアなど9分野にわたる607人の指導内容、指導地域などを画面で見ることができます。

新年度へ向けて学習計画を立てる時のお役に立ちます。どうぞご利用ください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ハート & ハーモニー Vol.10

安全な運動の条件は？

「スポーツは体に悪い」という本がベストセラーになったことがあります。内容はスポーツで身体に起こる様々な失敗やトラブルについて警告をする穏当なもので、標題の付け方に感心させられました。

「運動は諸刃の剣」とも言われます。効果と危険性が隣り合わせになっているのが運動の本質なので、身体を動かすときには頭も使って、どんな事が起こるかを考えることが必要だということです。

「スポーツを安全に」と言うと、すぐにメディカルチェック(医学的検査)を思い浮かべます。確かにスポーツ中の急死例の研究では、「防ぐことのできた事例」が数多く見られます。特に動脈硬化や心臓血管系の危険因子のチェックができていない中高齢者の急激な運動は、自殺行為にも思えます。このため、一部のスポーツ大会では健康診断書や誓約書の提出を参加者に義務付けていますが、これにも大きな疑問が残ります。一つは当日の体調があらかじめ分かるかということと、もう一つは参加したいがために体調をごまかす人がいないかということです。

これから行おうとしている運動が、その人にとって安全かどうかは相対的なものです。一部はメディカルチェックで止めたり注意したりできますが、当日の環境も含めて、本人が自分の体調に正直に向き合って判断することが、運動中の安全を確保するキーポイントです。くれぐれも「無知から無謀に走る」ことは避けなければなりません。

「生活の拡大」は安全のキーワードでもあります。身体の負担の大きな運動に急に飛びつかず、運動の量も強さも余裕を残してできる範囲を確認しながら、時間をかけて増やしていくことです。さらにスポーツを楽しむためには基本的な技術を十分に身に付けることです。バレエのバーレッスン、柔道の受け身、球技のフットワーク、ボクシングのガードなどなど無意識に身体が動くようになることが、上達と共に安全確保にも通じています。美しい動きは安心して見ていられるのです。

安全のためにルールを変えることも大切です。数万人参加のマラソンで、ICチップを使ってスタートラインからゴールまでの個人の正味タイムを計測するようにしたら、スタートにかかる時間が1.5倍になって、我先にスタートを争う危険な混雑がなくなりました。順位もゴール順とは限りません。このような一石二鳥の工夫を重ねれば、生涯スポーツはますます安全で楽しいものになっていきます。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

高齢者施設で援助活動する

「いちご会」

「いちご会」(平川栄吉会長、会員28人)は、麻生区や多摩区の高齢者福祉施設などでボランティア活動をしている会です。同会はかわさき市民アカデミー「高齢者福祉コース」の最初の受講生で95年に結成、「一期一会」のこばにちなみ、会の名をつけました。

メンバーは交代で、施設で音楽・園芸・手芸などのクラブ活動の援助やデイサービスの介助、美容院への付き添いなどを行っています。全員が介護ヘルパー2級・3級の資格を持っており、質の高い活動を目指しています。

年の瀬のある日、地域福祉センター「金井原苑」(麻生区)でしめ縄飾りを教えているところに伺いました＝写真。縄をなう会員のそばで、丸形にした縄に「ここには松葉を置きましょう」とお年寄りと一緒に飾り付けをしている人もいます。この日のために、わらの汚れを落としたり、長さを揃えたりと、念入りに準備したそうです。

会員の声「高齢者の生活には、地元とのかかわりが重要だと考えています。ボランティアをしながら、いつか自分も仲間入りするかもしれない要介護者の気持ちを理解したい」。

- ◆活動日：施設・活動内容によって異なる
- ◆場 所：金井原苑、虹の里ほか
- ◆連絡先：☎(988)3645の平川さん



美しい日本語を伝えたい

「中原朗読会」

樋口一葉や夏目漱石、宮澤賢治などの文学作品の鑑賞とともに、朗読技術の向上に励んでいるのは「中原朗読会」(南純子代表)の16人のメンバーです。月2回の例会では、講師の山本和子先生から発声やアクセント、表現方法などを学び、小説や詩の味わいを深めています。

伺ったこの日は、新年初めての例会。部屋には歌舞伎で有名な「外郎売の科白」が音吐朗朗と響いていました。

同会の誕生は20年前。中原市民館主催の「朗読講座」の受講生で発足しました。昨年11月末に開いた「20周年記念発表会」ではスライドや音楽で趣向を凝らし、アンデルセンの「絵のない絵本」、金子みすずの詩など、それぞれが思い入れの深い作品を朗読しました。会員たちは「長い時間かけて練習した成果があり、『継続は力』を実感しました」「自分にはできないと思っていたことが、みんなに支えられて達成できました。自分にとって大きな進歩です」と発表会を振り返り、感激した面持ちで話していました。

10月には、他のグループとの合同発表会があり、会員は4月からの練習に新たな意欲を燃やしています。

- ◆活動日：第1・3水曜日 10時から
- ◆場 所：主に中原市民館
- ◆連絡先：☎・Fax(900)2916の吉澤さん



情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●川崎市民交響楽団第153回定期演奏会

3月10日(土)18時半開演、エポックなかはら。曲目はシベリウス「フィンランディア」、ベートーベン「交響曲第5番ハ短調運命」他。指揮は岡崎正春。入場料500円。☎045(753)8578の森さん。

●麻生フィルハーモニー管弦楽団第33回定期演奏会

4月8日(日)14時半開演、多摩市民館。指揮は三石精一。曲目はチャイコフスキー「交響曲第5番」他。入場料1000円。全自由席。☎(955)1953の横須賀さん。

●春休み「わくわくクラシック」

3月30日(金)19時開演、教育文化会館。演奏は読売日本交響楽団。曲目はプロコフィエフ「ピーターとおおかみ」。指揮者のゲルト・アルブレヒトが、スライドを使って曲のポイントや楽器の説明をする。入場料は大人3000円、小中生1500円。全自由席。未就学児の入場は不可。チケットは各市民館他で販売中。☎(200)2308の市民局市民文化室。

●ランチタイムコンサート～民謡の可能性を探るライブ

3月21日(水)12時15分から、市役所第3庁舎ロビーで。出演

は安曇野めぐ留(ボーカル)、海老原真二(ピアノ)他。曲目は「秋田長持ち唄」「こきりこ節」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

●藤子・F・不二雄の世界展

3月3日(土)～15日(休)まで新百合21ビルの多目的ホールで開催▽3月21日(休)～4月8日(日)まではアートガーデンかわさきで開催。「ドラえもん」「パーマン」の原画約30点を展示。他にアニメ上映やテレビゲームなどあり。無料。☎(200)3315の市教育委員会文化財課。

●都市と社会の100年～新世紀元年1901/2001

3月25日(日)まで、市民ミュージアム。ポスターや写真、グラフ雑誌、電気製品などを展示し20世紀を振り返る。一般300円、小～大生100円。☎(754)4500。

●①写真展②木版展

場所はスナック喫茶琴。①は3月5日(月)～17日(土)。橋本春雄さんの富士山の写真を。②は3月19日(月)～31日(土)。船越元孝さんと岡部信之さんの作品を展示。☎(544)0507。

●ミュージアム・シネマテーク～1980年代のATG映画

3月3日～20日までの土日祝の13時半と16時に上映。場所は市民ミュージアム。大森一樹監督「風の歌を聴け」、森田芳光監督「家族ゲーム」他。入場料は一作品につき大人500円、小中生300円。定員各270人、先着順。☎(754)4500。

●耳の日の集い～字幕落語で笑いを取り戻そう

3月3日(土)13時から、国際交流センター。三遊亭京楽さんの字幕落語や難聴者のパフォーマンス、補聴器相談など。磁気ループ、要約筆記、手話通訳あり。☎Fax(753)0596の川崎市中途失聴・難聴者協会。☎(811)8657の事務局員宅。

●第8回アリラン祭～学校と地域を結ぶ民族文化祭

3月18日(日)13時から、労働会館。小中高生による韓国・朝鮮文化の発表。農楽、扇の舞、テコンド他。☎(322)4571の川崎南高校内の同実行委事務局。

●①わくわく実験ショー～明るい明るい光の実験

②ガリレオ工房科学実験教室～時間がたつと色が変わる

①は3月10日(土)②は3月24日(土)、時間は①②共10時と13時半、東芝科学館。①無料②300円。定員①各250人②各50人。要予約。☎(549)2200。

●簿記1級能力検定準備講座

4月2日～7月2日の月・木曜(祝日の場合は日曜に振り替え)、全27回。場所は労働会館。時間は18時15分から。定員35人、先着順。授業料26400円、教材費8100円。☎3月18日(日)9時から☎(222)4416。

●会館とどろき「1日無料体験教室」

①新卓球(ラージボール)②ヨガ

①は3月の毎木曜10時から。講師は日本体育協会公認スポーツ指導員の岡野恵美子さん。②は3月の毎火曜10時から。講師はヨガ研究家の坂田旭子さん。先着各20人。☎(733)3333。

●川崎市民プラザスポーツ教室の生徒募集

3月開講の水泳(幼児・児童、成人、女性)▽体操(幼児・児童)▽体力づくり(成人)の生徒を募集。入会金5000円、月会費4000円～5500円。先着順。☎3月1日(木)よりプラザフロントで。☎(888)3131。

●川崎市民プラザ趣味の教室の生徒募集

3月開講のアートフラワー▽ジャズダンス▽茶道▽水彩画

いま地域で学校で

「もちつき会」で他校と交流

—田島養護学校—

川崎区の田島養護学校(荒川佳紀校長・生徒数78人)では、地域とのふれあい祭りや福祉施設との交流の他、毎年1月に渡田小、大島小、臨港中、桜本中の障害児学級の生徒たちと「もちつき会」を行っています。



今年も「1年間良いことがあるようにお祈りしながら、おいしいおもちをつきましょう」という同校生徒のこぼれでもちつき会が始まりました。続く各校生徒のあいさつ。やがて、湯気をあげているもち米が次々と臼にあけられます。最初は先生たちががついているのを眺めていた子どもたちも、うながされて出番となりました。腕の動きに合わせて「ヨイショ」と掛け声が飛び、ペッタン音に続く歓声と拍手。一人で杵を持たない生徒は、後ろから支えられてもちつきを体験。全員が杵の重みを味わいました。

荒川校長は「もちつき会で伝統行事への参加と、他校の生徒たちとの交流を経験してほしい。田島での毎年のもちつき会を楽しみにしている他校の生徒もいるんですよ」と話していました。また、保護者の一人は「行事にはできるだけ参加して、子どもたちがどんなふうになっているのか見えています」と話していました。

など24講座の生徒を募集。入会金3000円、月会費4000円。先着順。☎3月1日(木)よりプラザフロントで。☎(888)3131。

●玉川大学公開講座

3月開講のはじめてのエクセルと電子メールマインターネットの便利な使い方とホームページ作り▽体力強化プログラム作成講座の受講者を募集。受講料各20000円。☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●中原韓国語講座受講生募集

毎週火曜日に、エポックなかはら他で行っています。入門クラスは13時15分から、初級クラスは15時から。受講料は月4000円。☎(799)3706の福井さん。

くらし百景 ステージ・俳優

しんゆり悠々句会

立春の茜雲間に日の出待つ	青木 孝夫
餅切りの音もはずんで初大師	石井とし子
白魚ははかなしいとど透き通る	井上よしみ
うららかや介護疲れも句座に解け	岩谷 たつ
寄り添いつ睦むが如くに路の臺	篠原 春孝
買はるるも納めらるるも達磨市	鈴木 三郎
梅明かり座敷に入れて便り書く	鈴木ゆたか
恋猫や我にもひとり思ふ女	高梨松一郎
啓蟄や五足の靴を磨き終へ	田中 幸吉
曙の春遅々として花ぐもり	東野 祐子
句碑に佇ち猫に嗅がるる春隣	西野 美子
友見舞う病窓の伊豆春浅し	福島 錠一
八重咲きの梅のくれない火打窓	村田 京子
面とりて鬼も一緒に年の豆	村田 静夫
日溜りにふつくらとあり露の臺	吉田 正雄

*通称王禅寺第四住宅に「しんゆり悠々クラブ」(老人会)が発足と同時に俳句サークル「悠々句会」が出来、二年半となります。当自治会内の「さざなみ句会」の重鎮、山岸吟月先生のご指導で月一回の句会を開いております。今回、句集「星宿」特集第一号を発行しました。自分の心の記念として二号、三号と続けます。ようとうと張り切っています。

代表 田中 幸吉

まち・ひと・多面体

笑いは薬 いつも心にユーモアを

「川崎さいわい寄席」代表・清流亭いしあたまさん

「寄席の木戸をくぐるとそこは江戸の世界であった」。江戸の粋と洒落を落語でたっぷり味わえる寄席。幸区で春と秋に行われる「川崎さいわい寄席」には、毎回約1400人もの観客が詰めかける人気と聞いて、代表のアマチュア落語家の清流亭いしあたまさんを訪ねました。

「ほら、寄席文字で書くと『いしあたま』が『いーあたま』と読めるでしょ」。名刺交換と同時にさっそく「笑い」でこちらをなごませる清流亭いしあたまさんこと深見政則さん(57)。

深見さんは小学生の時から落語ファン。独学で落語を学び、プロの落語家と共演できる日を夢見ていました。平成6年7月、同好の士をつのり旗揚げした「さいわい寄席」の公演が話題となり、以来春と秋の年2回、プロとアマチュア落語家が共演する寄席を、入場無料で開催しています。寄席では、お客さんに楽しんでもらおうと、従来の形式にとらわれずに、毎回独自の味付けを工夫しているそうです。

また、深見さんは新聞の風刺コント欄への投稿常連者

で、各紙の月間賞や年間賞を30回以上も受賞しています。このことも寄席の土壌になっているようです。

「アマチュアだから下手でもいい、ということはありません」。珠算塾経営のかたわら、ネタ帳にびっしり書き込み、たゆまず精進している深見さん。公演が終わるとすぐ次の公演のことを考えるとのこと。その「やわらかあたま・おもしろハート」で、また観客を楽しませてくれることでしょう。

15回記念の「川崎さいわい寄席」は、5月13日(日)11時と14時の2回、幸文化センターで行います。「東海道400年祭」にちなんだ落語を披露する予定です。問い合わせは☎(511)6901の深見さんまで。

◆お知らせ◆

情報コーナー「イベントパーク」へ掲載希望の方は、開催日(申し込み開始日)の2ヵ月前までに情報をお寄せください。
☎ 044(733)5811(直通) / Fax 044(739)0085



けいこをするいしあたまさん(提供写真)